

ミズアオイ

Monochoria korsakowii Regel et Maack

ミズアオイ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

準絶滅危惧

選定理由

かつては普通に見られた植物であるが、各地で急減して近年稀となった。保全措置がとられている例もあるが、減少傾向が続いている。(現況:V2-)

形態

類似種はコナギで、茎が短く1本の茎に1枚の葉がつくのに対して、本種では、茎の長さが20~30cmと長く、1本の茎に多数の葉が着く。また、本種では花の大きさが直径25~30mmもあり、花序に多数の花を着けるが、コナギは花の大きさが直径15~20mmで小さく、花数も少ない。本種の葉は心形で5~10cm、根出葉は葉柄が長く10~20cm、茎出葉は短く5~10cm。花被片は青紫色で楕円形、長さ15mm内外。花柱は湾曲、蒴果は卵状長楕円形、長さ15mm内外。

国内分布

北海道~九州(一部)に分布。朝鮮、中国、ウスリー地方に分布。

県内分布

舩倉島・七ツ島と白山高地区を除く全域。

生態など

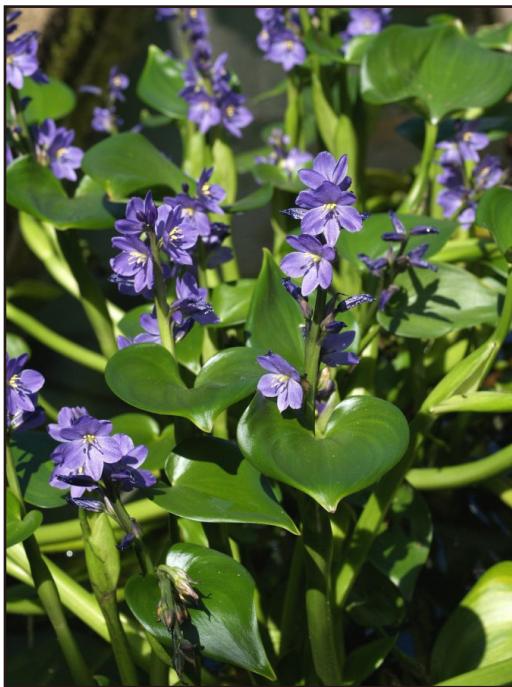
一年生草本、かつては水田雑草として繁茂した。花期は8~10月。

生育環境

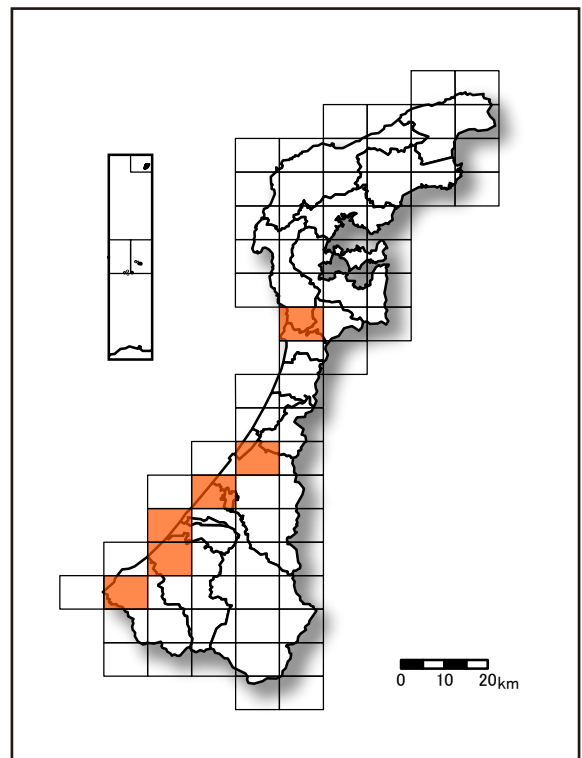
現在は水路、池沼など。

危険要因

湿地開発、池沼開発、河川開発、帰化競合、農業汚染、管理放棄、自然遷移、産地局限など。



本多郁夫・2004年9月23日・金沢市



県内の分布